Panasonic

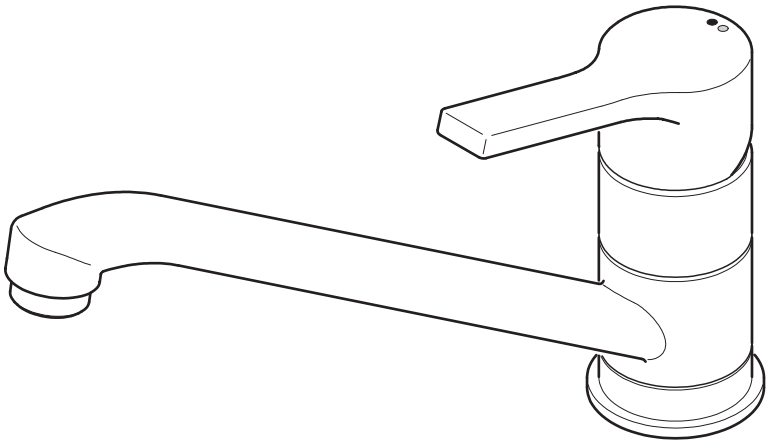
施工説明書

シングルレバー混合水栓

品番

○○FS327	一般地用
○○FS327T7	寒冷地用

※○○には「SI」などのキッチンシリーズを示す英字が入ります。



もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ・寸法図	4
分解図	5
施工前の確認	6
1　給水管内の清掃	6
2　止水栓(別売)の取り付け	6
3　本体の取り付け	7
4　通水確認・流量調節 温度調節	9
5　泡まつ器の清掃	10
施工後の確認	11
施工後のチェック	裏表紙
引き渡し	裏表紙
仕様	裏表紙

はじめに

施工手順

ご確認ください

■施工開始前に必ずお読みください。

■施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり、安全に正しく施工してください。

■施工後は引き渡しの際に、取扱説明書にしたがって取り扱い方法をお施主様にご説明いただき、保証書（取扱説明書に添付）に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。

■梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って、適切に処理してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

◎人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。

⚠警告

⃠ 禁止

- **湯水を逆に配管しない**
  水を出そうとしても、湯が出てやけどをするおそれがあります。必ず、給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
- **給湯温度は85℃より高温で使用しない**
  85℃より高温で使用すると、器具の寿命が短くなり、器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **加工および接合、市販浄水器具の取り付けなどの改造をしない**
  器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **給湯に蒸気を使用しない**
  器具が破損し、やけどをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **寒冷地仕様の場合、水抜き栓を水抜き以外の目的で開けない**
  高温のお湯が出て、やけどをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⃠ 禁止

- **配管などの解氷のため解氷機を使用する場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しない**
  水栓や配管が発熱し、やけどをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **修理技術者以外の人は、決められた項目以外の分解・点検をしない**
  器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

❗ 必ず守る

- **水圧変動をおさえた配管設備にする**
  他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇しやけどのおそれがあります。

⚠注意

⃠ 禁止

- **器具に強い力や衝撃を与えない**
  器具が破損し、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **配管接続部をテーパーねじに接続しない**
  接続部がゆるんだり、パッキンが切れたりして、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⃠ 禁止

- **めっき部品は、ぶつけたり落したりしない**
- **鋭利な物や硬いものをあてない**
  めっきの表面が割れ、けがをするおそれがあります。また、器具が破損し、やけどをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **めっきの表面が割れた場合は使用しない**
  けがをするおそれがありますので、新しい部品に交換してください。

⚠注意

禁止

- **薄肉の接続管(ニップル等)には袋ナットを使用しない**

  パッキンが切れ、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- **上下戻り配管をしない**

  ウォーターハンマーなどで給湯・給水ホースが振動した際、屈曲部から漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- **給湯・給水ホース同士を接触させない**
- **給湯・給水ホースを壁に接触させない**

  接触部から亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- **給湯・給水ホースは、鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしない**

  急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず守る

- **止水栓取り付け個所や給水・給湯管との接続個所は、点検口を設けるなど点検をしやすい状態にする**

  漏水発生時に発見が遅れて家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- **小型電気温水器(即湯器)などに給湯ホースを接続する時は、ステンフレキ管を介す**

  高温の熱により給湯ホースの寿命が短くなり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- **凍結が予想される場合で一般地仕様の場合、配管部に布を巻くなど凍結を防止する**
- **寒冷地仕様の場合、配管と水栓金具の水抜き操作をする**

  凍結破損して漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- **固定用ナットの締め付けには、推奨工具：QGKPS957（別売)を使用する**

  推奨工具を使用しないと、本体がゆるんだり、がたつきが発生して、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず守る

- **推奨工具で約15.0N·mを目安に締め付ける**

  締め付けが足りなかったり、締め付けすぎると、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- **止水栓がしっかり固定されていることを確認する**

  給湯・給水ホースが抜け、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- **給湯・給水ホースは、R60以上の大きな曲げ半径になるように曲げる**

  急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- **給湯・給水ホースの接続が確実にされているか確認する**

  確実に接続されていないと、給湯・給水ホースが外れ、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- **混合栓取り付け後、通水して湯水の出し止めを5 ～ 6回繰り返し、配管接続部および混合栓からの水漏れがないことを確認する**

  漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

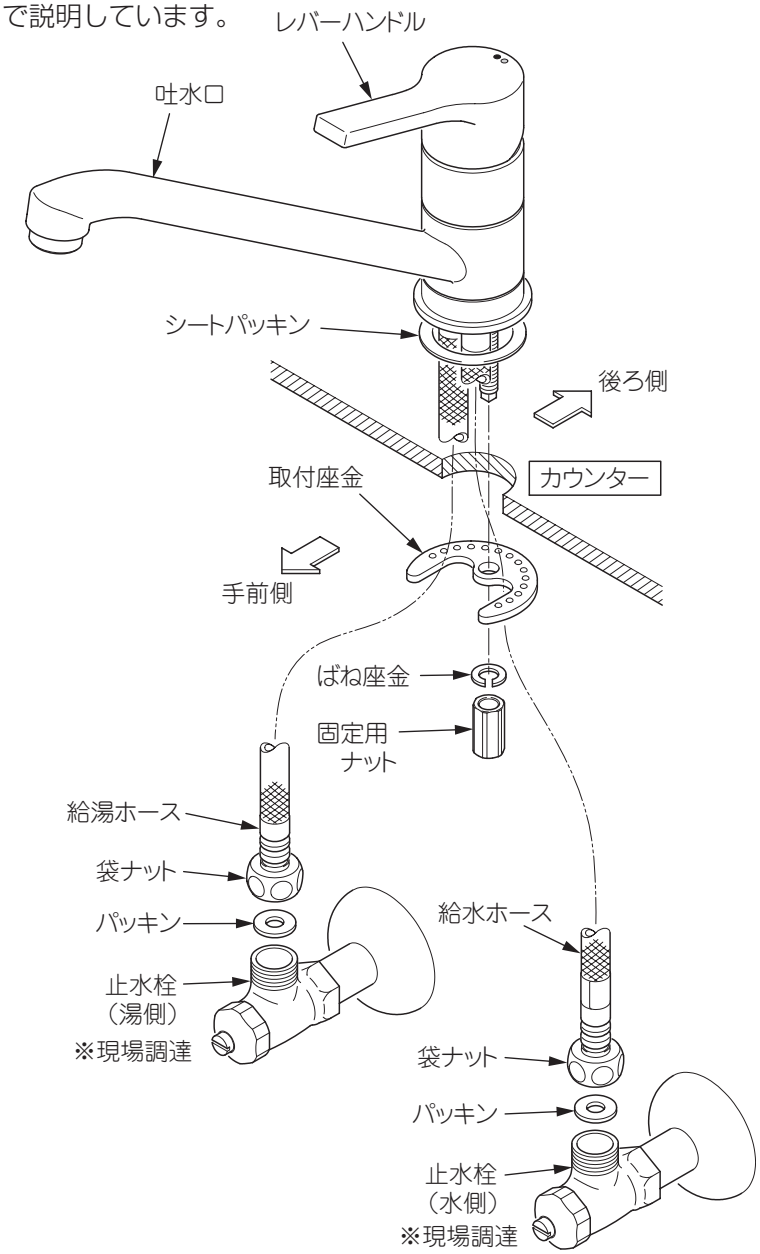
- **メンテナンスは、本体を保持しながら行う**

  吐水口やレバーハンドルを持って部品を外すと、器具が破損して漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

各部のなまえ・寸法図

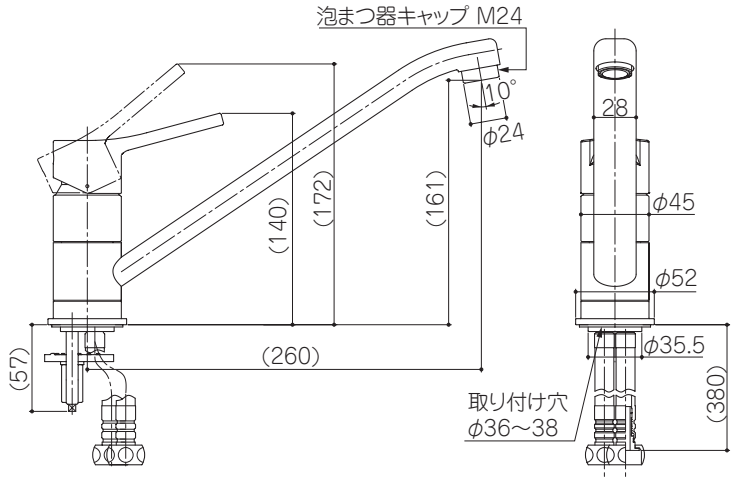
各部のなまえ

※ここでは、壁給水の図で説明しています。



寸法図

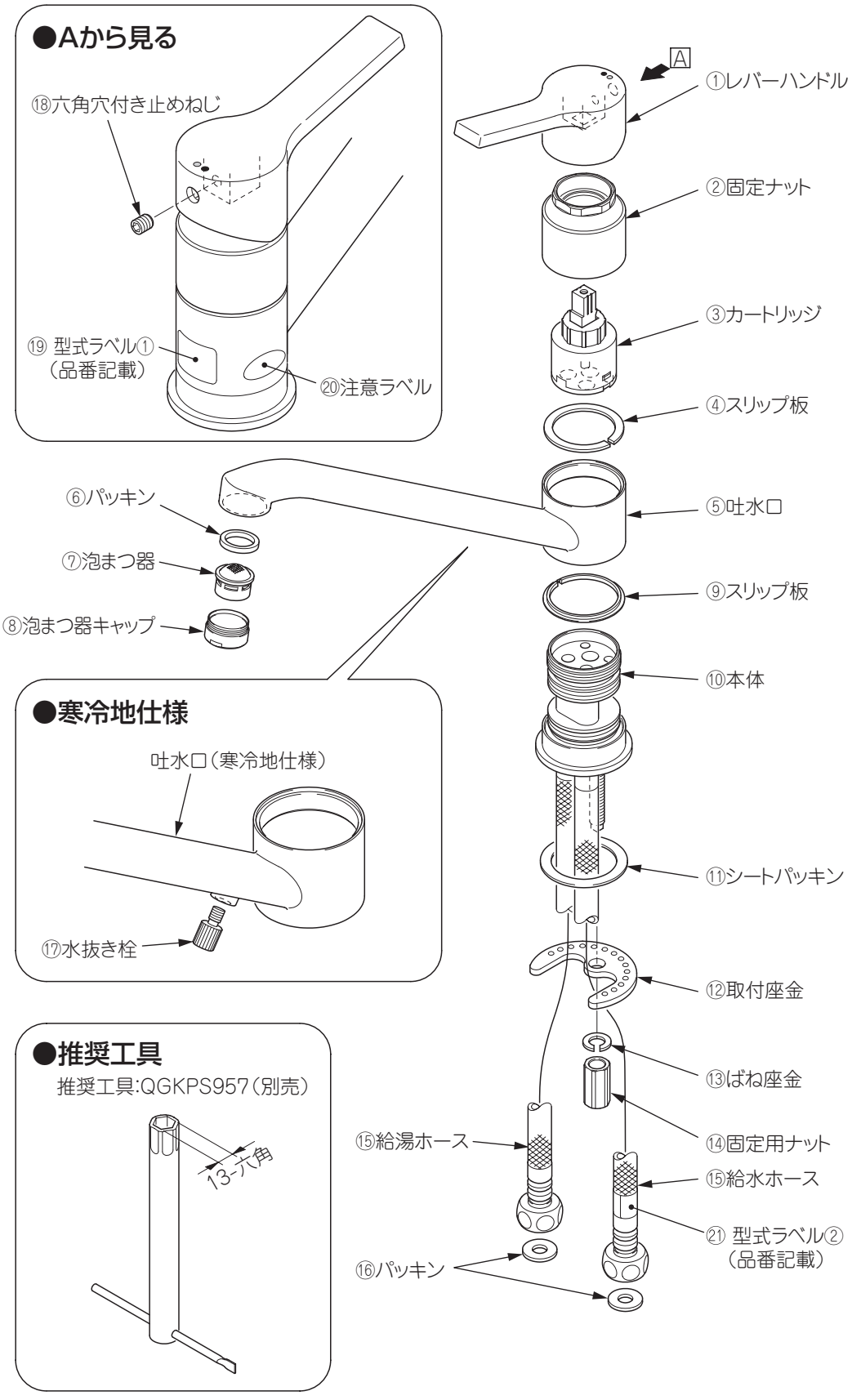
（寸法単位:mm）



分解図

■部品リスト

No.	部品名称
①	レバーハンドル
②	固定ナット
③	カートリッジ
④	スリップ板
⑤	吐水口
⑥	パッキン
⑦	泡まつ器
⑧	泡まつ器キャップ
⑨	スリップ板
⑩	本体
⑪	シートパッキン
⑫	取付座金
⑬	ばね座金
⑭	固定用ナット
⑮	給湯･給水ホース
⑯	パッキン
⑰	水抜き栓
⑱	六角穴付き止めねじ
⑲	型式ラベル① （品番記載）
⑳	注意ラベル
㉑	型式ラベル② （品番記載）



施工前の確認

◎施工前に下記を確認してください。

- 使用水圧は下記のようにしてください。

[A＝(給湯器の最低作動水圧)＋(配管圧力損失)]

①瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件　水温:25℃、給湯器温度調節:高温、吐水温度:42℃、ハンドル全開)
[比例制御式] 最低必要水圧：A+0.05MPa（動水圧)、最高水圧：0.75MPa（静水圧)

②貯湯式給湯器との組み合わせ
[給湯・給水圧力] 最低必要水圧：A+0.05MPa（動水圧)、最高水圧：0.75MPa（静水圧)

- レバーハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- 給湯器からの配管は最短距離で配管し、必要に応じて配管には保温材を巻いてください。
- 使用諸条件を加味して適性な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量および吐水温度が得られないことがあります。
- 本製品は改造(加工および接合、市販浄水器具の取り付けなど)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

施工手順

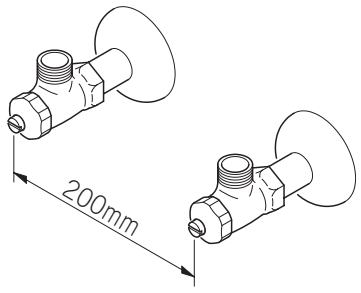
1.給水管内の清掃

1 配管工事完了後、給水・給湯配管内のゴミ、砂などを完全に洗い流してください。

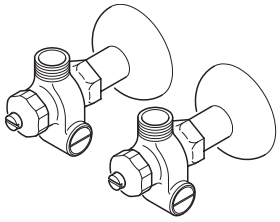
2.止水栓(現場調達)の取り付け

1 給湯管と給水管の間隔を200mm程度にして取り付けてください。

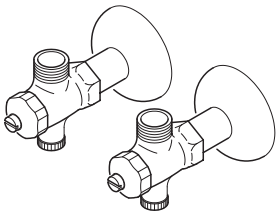
■壁給水仕様



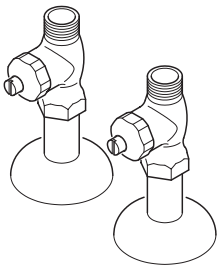
■ストレーナー付き仕様



■水抜き栓付き(寒冷地仕様)



■床給水仕様



止水栓について

- 止水栓はストレーナー付きが最適です。
- 寒冷地用は、水抜き栓付き止水栓を取り付けてください。

施工手順

3.本体の取り付け

⚠ 注意

禁　止

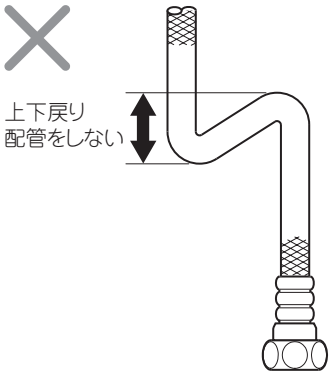
- **薄肉の接続管(ニップル等)には袋ナットを使用しない**
  パッキンが切れ、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **上下戻り配管をしない**
  ウォーターハンマーなどで給湯・給水ホースが振動した際、屈曲部から水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **給湯・給水ホース同士を接触させない、給湯・給水ホースを壁に接触させない**
  接触部から亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **給湯・給水ホースは、鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしない**
  急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず守る

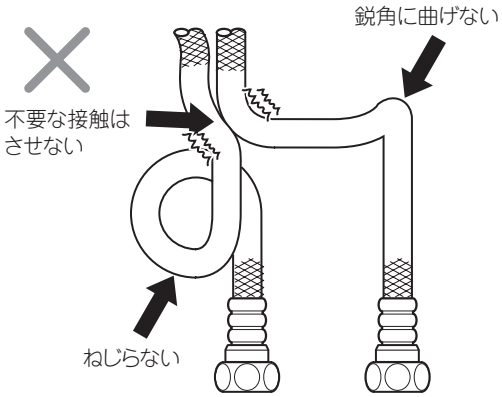
- **固定用ナットの締め付けには、推奨工具：QGKPS957（別売)を使用する**
  推奨工具を使用しないと、本体がゆるんだり、がたつきが発生して、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **推奨工具で約15.0N･mを目安に締め付ける**
  締め付けが足りなかったり、締め付けすぎると、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **止水栓がしっかり固定されていることを確認する**
  給湯・給水ホースが抜け、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **給湯・給水ホースは、R60以上の大きな曲げ半径になるように曲げる**
  急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- **給湯・給水ホースの接続が確実にされているか確認する**
  確実に接続されていないと、給湯・給水ホースが外れ、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

■給湯・給水ホースの接続時の注意点

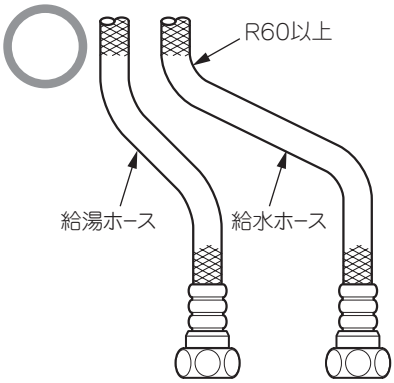
上下戻り配管をしない



接触させない･ねじらない



R60以上の曲げ半径にする



施工手順

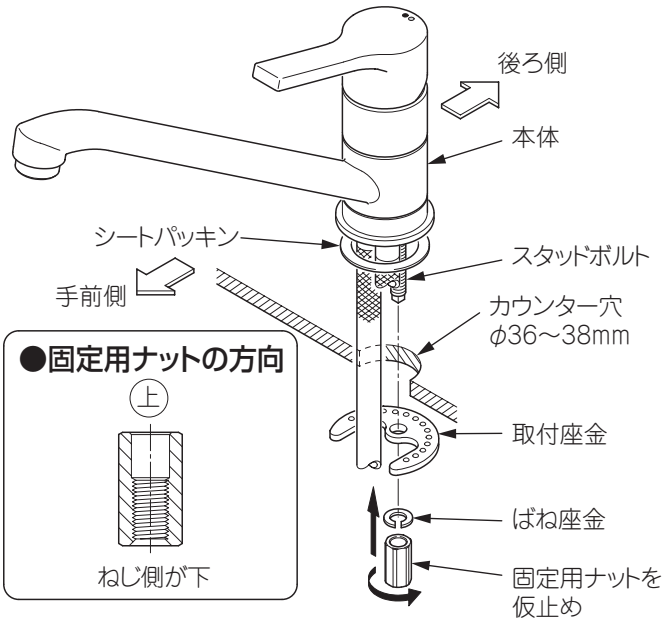
1 袋ナットをずらしてから、給湯・給水ホースをカウンター穴に差し込んでください。

2 混合栓本体が正面を向くように、位置を合わせてください。

3 取付座金、ばね座金、固定用ナットを本体のスタッドボルトに仮止めしてください。

施工時の注意事項

- **シートパッキンが混合栓本体の下面にあることを確認してから取り付けてください。**
- **固定用ナットのねじ側を下にしてください。**



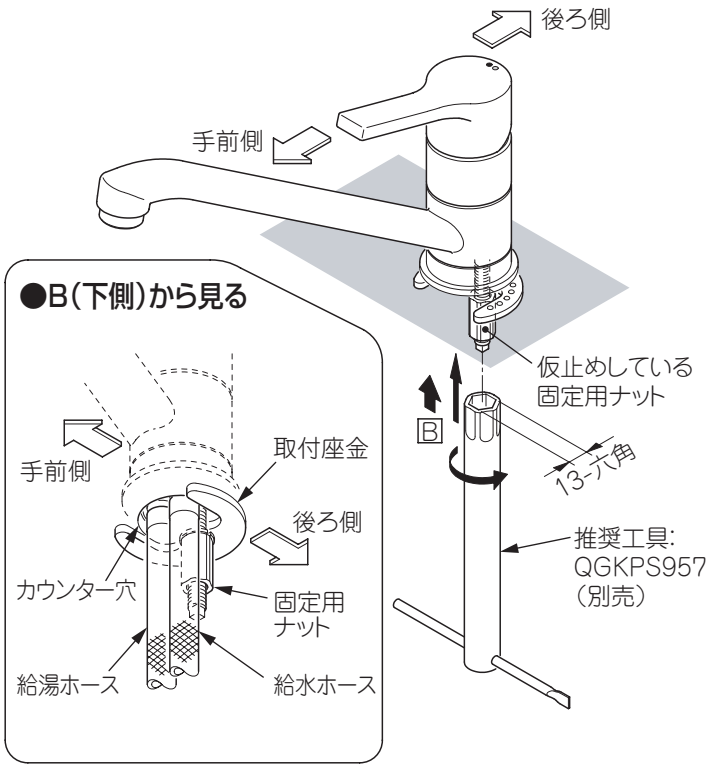
4 推奨工具を使用して、固定用ナットを締め付けてください。

推奨工具と締め付けトルク

- 推奨工具：QGKPS957（別売）
- 締め付けトルク：約15.0N·m

施工時の注意事項

- **混合栓本体がカウンター穴の中心にくるようにしてください。**
- **取付座金、固定用ナット、給湯・給水ホースの向きを右図のように取り付けてください。**
- **固定用ナットを確実に締め付けてください。**

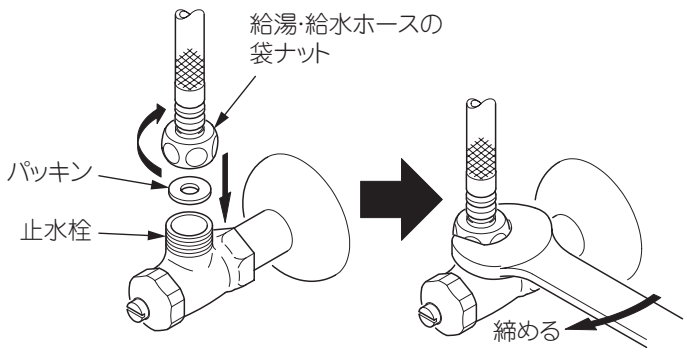


5 給湯・給水ホースの袋ナットおよびパッキンを止水栓に接続してください。

6 袋ナットを締め付けてください。

施工時の注意事項

- **袋ナットを確実に締め付けてください。**



4.通水確認・流量調節・湯温調節

⚠ 注意

必ず守る

- **混合栓取り付け後、通水して湯水の出し止めを5 ～ 6回繰り返し、配管接続部および混合栓からの水漏れがないことを確認する**

  漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

■ 通水確認

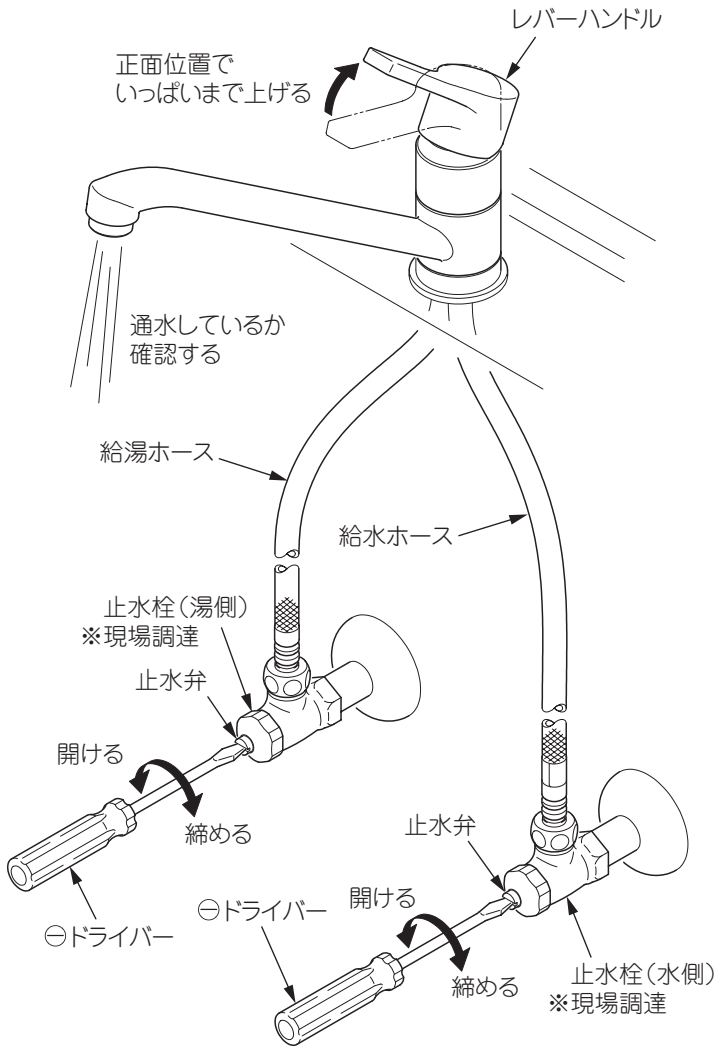
1. 水道の元栓および湯側・水側の止水栓(2か所)の止水弁を開けてください。
2. レバーハンドルを正面位置にして、いっぱいまで上げて、通水していることを確認してください。

■ 流量調節

1. レバーハンドルを上げて、全開吐水状態にしてください。
2. 湯水の止水栓(2か所)の止水弁をまわし、流量を調節してください。
3. 流量調節後は、レバーハンドルを下いっぱいまで下げて、止水してください。

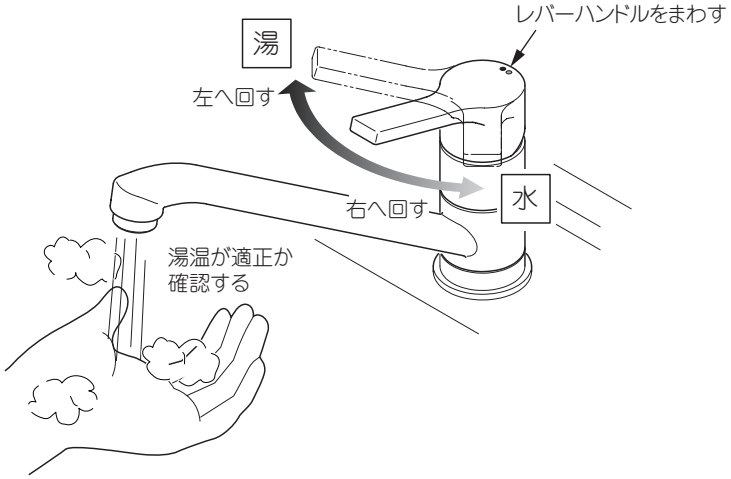
流量調節のめやす

- 流量のめやす：7 ～ 8L/min



■ 湯温調節

1. レバーハンドルを上げて左右に動かし、水の出、湯の出を確認してください。
2. 湯に手をかざして、温度が適正であるか確認してください。



施工手順

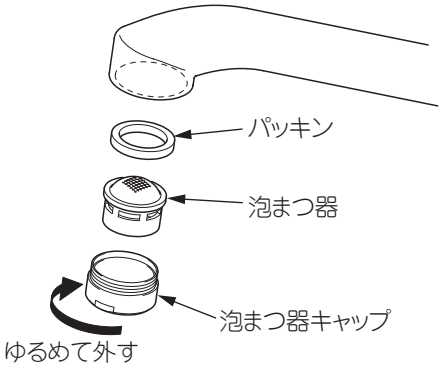
5.泡まつ器の清掃

⚠ 注意

必ず守る

- **泡まつ器の掃除をする場合、いきなり泡まつ器キャップをゆるめずに、止水してから行う**
  止水せずにゆるめると、湯水が噴き出して、やけど・けがをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

1 泡まつ器キャップをゆるめて、各部品を外してください。

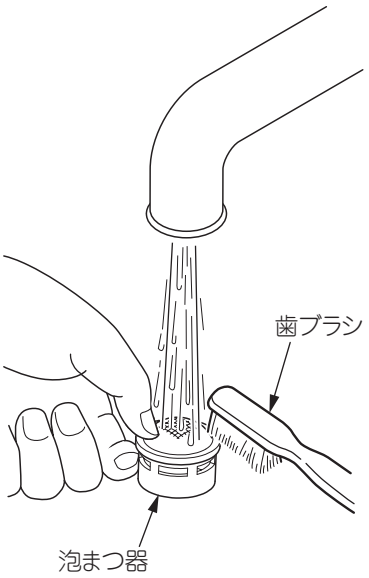


清掃時の注意事項

- **取り外した部品をなくさないようにご注意ください。**

2 ゴミ、水アカを歯ブラシなどで取り除いてください。

3 清掃後は、外した部品を逆の手順で取り付けてください。



清掃時の注意事項

- **清掃後は、水を流して、水漏れがないか確認してください。**

施工後の確認

⚠ 警告

禁 止

- **修理技術者以外の人は、決められた項目以外の分解・点検をしない**
  器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

- **メンテナンスは、本体を保持しながら行う**
  吐水口やレバーハンドルを持って部品を外すと、器具が破損して漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

◎施工後に、下記にあてはまる事柄がないかご確認ください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照項目	参照ページ
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	「通水確認・流量調節・湯温調節」	9
	泡まつ器にゴミなどがつまっていませんか	泡まつ器を清掃する	「泡まつ器の清掃」	10
	ガス給湯器と組み合わせて使用する時、ガス給湯器が能力切り替え式である場合、ガス給湯器の能力が適正にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正にセットする	–	–
	泡まつ器は凍っていませんか	泡まつ器にぬるま湯をかける	–	–
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	「通水確認・流量調節・湯温調節」	9
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	「通水確認・流量調節・湯温調節」	9
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	–	–
温度調節がうまくできない	水側・湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	「通水確認・流量調節・湯温調節」	9
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	–	–
	泡まつ器にゴミなどがつまっていませんか	泡まつ器を清掃する	「泡まつ器の清掃」	10
吐水が飛び散る	泡まつ器にゴミなどがつまっていませんか	泡まつ器を清掃する	「泡まつ器の清掃」	10

施工後の確認

施工後のチェック

◎全ての作業の完了後に、下記をチェックしてください。

No.	項目	内容	チェック
1	傷、汚れ	表面に傷や汚れがないか確認する。	
2	がたつき・ゆるみ	水栓本体および接続部に、がたつきや、ゆるみがないか確認する。	
3	流量・湯温	適正であるか確認する。	
4	水漏れ	水栓本体および接続部から、水漏れがないか確認する。	
5	清掃	本体をやわらかいきれいな布またはスポンジで水洗いし、かわいた布で水滴をふき取る。 泡まつ器を清掃する。	

引き渡し

◎取扱説明書にしたがって取り扱い方法をお施主様にご説明ください。
◎保証書（取扱説明書に添付）に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。

仕様

■ シングルレバー混合水栓

部位	仕様
混合栓本体	金属製
吐水口	金属製
レバーハンドル	合成樹脂製
給水・給湯ホース	金属製、合成樹脂製

パナソニック電工株式会社　水廻りシステム事業部
〒571−8686 大阪府門真市大字門真1048番地

Dx0510-0

© Panasonic Electric Works Co.,Ltd. 2010